

十代十色

学習支援ボランティアとして活躍する今井さん—あま市で



子を変える指導者の工夫

学習支援・ボランティアとして活躍

今井 彩寧さん(19)

愛知教育大2年で、養護教諭を目指しながら、市内で子どもの学習支援ボランティアに取り組む。「教師はさまざまな背景のある子とのコミュニケーション力が必要になる」。入学後、こう思い立ち、経験を積もうと飛び込んだ。

支援するのは、ひとり親家庭など経済的、精神的な支援が必要な中学生たちだ。公共施設で宿題をする生徒に優しく寄り添い、解き方を助言し、生活や進路相談に乗る。

向き合う生徒には数学の文章問題を苦手にする子が多い。自身の経験から、キャラクターの絵や図を取り入れ、分かりやすく教えてみた。すると、今まですぐに諦めていた子も楽しそう

に鉛筆を走らせるようになった。「指導者の工夫次第で、生徒は勉強を好きになり、自ら取り組むようになるんだ」と実感した。

他にも大学では、外国籍の幼児から小学生への日本語の学習支援に励む。あま市の若者有志で、「子ども食堂」を始める計画も現在進行中だ。

さまざまな境遇の子どもたちへの支援を続ける背景には強い信念がある。経済的な理由で進学を諦める子がいる現状に「皆が楽しく学校生活を送れ、希望の進路に行けるよう、今後も多様な取り組みを通じ、陰ながらサポートしたい」。子どもたちの将来への可能性をもっと広げたいと願っている。(伊勢村優樹)